



報道関係者各位

スマートイルミネーション横浜実行委員会
2014年9月17日**環境未来都市・横浜から提案する、新たな時代のイルミネーション****「東アジア文化都市 2014 横浜 スマートイルミネーション横浜 2014」開催**

2014年10月30日(木)～11月3日(月・祝) / 象の鼻パーク、みなとみらい21地区 ほか

スマートイルミネーション横浜実行委員会では、横浜市内の都市部・臨海部を中心に、省エネルギー技術を活用したアートイベント「東アジア文化都市 2014 横浜 スマートイルミネーション横浜 2014」を、2014年10月30日(木)から11月3日(月・祝)までの5日間に渡り開催します。

今年は「Primary Light 語り合う光」をテーマに、実施エリアを拡大し、横浜市内の4つの区で開催、さらには「東アジア文化都市 2014 横浜」事業の一環として、日中韓の作家が集い、アートプログラムを展開するなど、見どころ盛りだくさんの内容でお送りいたします。

「スマートイルミネーション横浜」とは・・・**①国内外のアーティストが参加する光の祭典**

国内外のアーティストが参加する光の祭典。歴史的建造物などのライトアップはもちろんのこと、参加型のインスタレーション、ワークショップ、イベントなど、多種多様なアート表現が「もうひとつの横浜夜景」を生み出す国際アートイベントです。

②最先端環境技術のショーケース

街中で展開される環境技術の見本市。LEDや有機EL、蓄光塗料など節電型の照明技術はもちろんのこと、太陽光発電、電気自動車のバッテリー電源の利用など、スマートシティを形成する様々な環境技術の実証展示の場となっています。

③みんなで作る横浜夜景

「みんなで作る横浜夜景」というコンセプトのもと、企業、大学、商店街、市民などによる多種多様な参加機会を設けています。環境と共生する都市、社会の実現に向け、産官学・市民が一体となって取り組む、街づくりのイベントです。



『スマートイルミネーション横浜 2013』より

〈イベント概要〉

名 称：「東アジア文化都市 2014 横浜 スマートイルミネーション横浜 2014」

テ ー マ：Primary Light 語り合う光

会 期：2014年10月30日(木)～2014年11月3日(月・祝) 17:00～22:00

※初日のみ点灯式のため18:00～、プログラムにより開催時間が異なります。

会 場：象の鼻パーク、みなとみらい21地区 ほか

主 催：スマートイルミネーション横浜実行委員会、2014年東アジア文化都市実行委員会

共 催：横浜市文化観光局

参加アーティスト：50音順・敬称略

イ・ジェミン、栄暁佳、キム・ジェドク、小山田徹、呉鴻、柴幸男、島田正道 (GwaGwa)、ジン・シヨン、高橋匡太、チャン・ウソク、ハン・ジンス、パク・ジヒョン、藤本隆行、リ・ヒョンジュ、リ・プリンス

【報道関係の皆様からのお問い合わせ先】株式会社サニーサイドアップ 担当：金(kim@ssu.co.jp)、服部(mhattori@ssu.co.jp)、蛭川
TEL：03-6894-3200 / FAX：03-5413-3050**【一般の方からのお問い合わせ先】**

スマートイルミネーション横浜 イベント事務局 担当：森、築館(つきだて)

TEL：045-633-9660 / FAX：045-662-8224

Mail：jimukyoku@hustle.jp

■ 本年のテーマ

Primary Light 語り合う光

Primary とは、根源的な、原始的なといった意味を有します。これまでの3年間にわたる事業展開のなかで、「スマートイルミネーション横浜」は、国内外のアーティストやクリエイターは勿論のこと、多くの市民団体、企業、大学などが参加する、横浜の一大イベントへと成長してきました。そして今年、参加の輪は、東アジアへ、市内広域各所へと、さらに広がろうとしています。こうした広がりが現実となる今、私たちは改めて、スマートイルミネーションの原点となるコンセプトを見つめ直したいと考えています。

「スマートイルミネーション横浜」は、東日本大震災の年に生まれました。その背景には、新たな環境技術を都市にインストールしていくことの重要性、そこにアートを介在させることによる可能性の広がりへの気づきとともに、必要以上に明るくなりすぎた現代の都市景観への反省がありました。スマートイルミネーションは、暗さのなかでこそ感じることができる都市の魅力を追求してきたイベントといえます。

「スマートイルミネーション横浜 2014」では、こうした原点に立ち返り、都市と光、人と光の根源的な関わりに注目した事業展開を行います。日中韓のアーティストをはじめ、さまざまなクリエイター、市民、企業などと協働し、人と人、人と都市の豊かな語り合いの場を創出します。

■ 本年の見どころ

1. 「東アジア文化都市 2014 横浜」事業として開催

今年は中国・泉州市、韓国・光州広域市との連携で実施される「東アジア文化都市 2014 横浜」事業として開催。日本、中国、韓国の作家が集い、横浜を舞台とするイルミネーションプログラム（アートプログラム）を展開します。

2. 市民団体・企業・大学など多彩な参加。スマートイルミネーション・アワードも国際アワードとして拡大開催

横浜の歴史的建造物などを活用し企業等が自社の照明技術によるライトアップを行う「まちなか展示会」のほか施設、商店街、地域団体、大学などの多様な団体が主体となり「プログラム参加」します。また、昨年のアワードを拡大し、「FutureCity Yokohama スマートイルミネーション・アワード 2014」として実施します。

3. 市内に広がるスマートイルミネーション。

金沢区、鶴見区、緑区、泉区で、地域の特色を活かしたスマートイルミネーションを展開

今年は横浜市内での広域展開として、象の鼻地区を中心とする横浜都心臨海部、緑区に加え、金沢区、鶴見区、泉区でもスマートイルミネーションを開催。東アジア文化都市 2014 横浜の連携事業として、海外作家を招聘。各区役所が主体となり、市民団体/大学/施設との連携のもと、各区の地域性に応じたイルミネーションプログラムを展開します。

〈開催エリア〉



金沢区 金沢八景駅周辺



鶴見区 大本山總持寺



緑区 新治里山公園



泉区 地藏原の水辺

〈金沢区〉

日程：10月4日（土）※雨天時は翌日へ順延
会場：金沢八景駅周辺

〈鶴見区〉

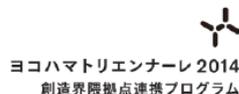
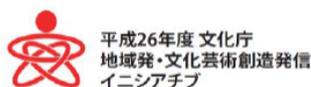
日程：10月24日（金）、25日（土）
会場：大本山總持寺

〈緑区〉

日程：11月7日（金）～9日（日）
会場：十日市場駅～新治里山公園

〈泉区〉

日程：11月16日（日）
会場：地藏原の水辺



■プログラム紹介

1.アートプログラム

会期中常設で展示される作品群。新たな都市景観を生み出す環境演出型のプログラムや、来場者が様々な「ひかり遊び」を体験できるインタラクティブ作品など、多彩な作品を展示します。「東アジア文化都市 2014 横浜」として開催される今年は、「日本人招待作家による作品」、「東アジア作家と日本人作家によるコラボレーション作品」、「東アジア文化都市招待作家による作品」で展開します。

(1)日本人招待作家による作品展開

■《moving projection theater たてもものおしばい》高橋匡太+柴幸男（象の鼻パーク）



(作品イメージ)

本作品はムービングプロジェクターを駆使した野外劇です。役者達は象の鼻パークを取り囲む5棟のビルです。普段は動く事も話す事も出来ない建物がアーティストによって個性を与えられ対話を始める時、見慣れた風景は素敵な物語を紡ぎ出します。

■《ちび火》小山田徹（象の鼻パーク）



(作品イメージ)

象の鼻パークに小さな「焚火」を設置。最も原始的な「光」である「火」を囲む、豊かなコミュニケーションの空間を創出します。

■《Colors of the windway》島田正道(GwaGwa)（象の鼻パーク防波堤・臨港パーク）



(作品イメージ)

"風のとおり道"を見つけるインスタレーション。60台の風車を使って風の流れを光と色で表現します。

(2)東アジア作家と日本人作家によるコラボレーション作品展開

■《キム・ジエドク「Grand field」》

振付：キム・ジエドク 出演：キム・ジエドク、ハン・テジュン

照明デザイン：藤本隆行(Kinsei R&D)

舞台監督：粟津一郎/音響：WHITELIGHT

(象の鼻パーク)



(作品イメージ)



韓国コンテンポラリーダンスの新世代を代表する振付家・ダンサー、キム・ジエドクがソーラートラックの極小空間を起点とした新作デュオ公演を発表。

公演後には、作品の照明デザインを担当した藤本隆行による、LEDライトインスタレーション「音波-光 AMP」も展示されます。

(3)東アジア文化都市招待作家による作品展開

■《Wonderland》イ・ジェミン、チャン・ウソク、ハン・ジンス、リ・ヒョンジュ、リ・プリンス

「アーティストとアーティスト」、「アーティストと来場者」、「日本と韓国のハーモニー」をテーマとした韓国（ソウル）のアーティストによる作品。

1. 《Kokkily+Hana+Zouno+Ko》

チャン・ウソク×ハン・ジンス（象の鼻テラス屋上）

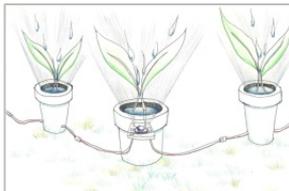


(作品イメージ)

象に付属されたハンドルを動かすと、羽が動き出し、象の鼻から水が噴射される。胴体には様々なスタンプが施され、ライトアップにより幻想的に輝きを放ちます。

2. 《Lighting flowerpot》

イ・ジェミン（象の鼻テラス屋上）



(作品イメージ)

水や雨を感知すると、ミステリアスに光るLED植物プランター。水を与えることで、呼吸をするように光る姿は、対話を想起させます。

3. 《The birds smile at 'Tokky'》

リ・プリンス×リ・ヒョンジュ（象の鼻テラス屋上）



(作品イメージ)

ふしぎの国のアリスに登場する、お喋りするうさぎや鳥たち。来場者とアーティストが、うさぎと鳥にメッセージを描き会話をするワークショップ型のインスタレーション。

■《FLOW》 ジン・シヨン (象の鼻テラス)



(作品イメージ)

色とりどりのLEDチューブが、複雑に交差しながら、光の流れを生み出し、人々のコミュニケーションや思考を共有する様を表現します。

■《水天一色/Galaxy Ripple》 吳鴻 (象の鼻パーク)



(作品イメージ)

プロムナードの橋下に浮び上がる光の水平線。無数の反射材の破片によってきらめく光が、海風に揺れながら、さざ波のように広がります。

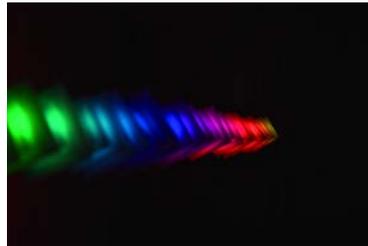
■シャトルシップ《FLOW》 ジン・シヨン (ぶかり棧橋〜ピア象の鼻)



スマートイルミネーション横浜 2013
光の航跡 2013 / シャトルシップ
アーティスト：高橋匡太

ジン・シヨンによるLEDチューブで装飾された船舶が、象の鼻パークとパシフィコ横浜間を結ぶシャトルシップとして運航します。

■《極光/ACROSS》 栄暁佳 (象の鼻パーク)



(作品イメージ)

中国の伝統行事に不可欠な「爆竹」をイメージし、二人の参加者が両端から光を触発し、光がぶつかり合うと、爆竹のような音を奏でます。

2. FutureCity Yokohama スマートイルミネーション・アワード 2014

(象の鼻パーク・パシフィコ横浜円形広場・ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル)

LED や有機 EL など、環境共生型の照明技術の新たな活用方策を発見、創造する機会とするとともに、アーティストの創造性を活かした環境未来都市の推進に取り組む横浜の特色を活かした「FutureCity Yokohama スマートイルミネーション・アワード 2014」を開催します。今年の応募総数は海外からの応募も含む 36 組 (39 作品) と昨年の 8 組から大幅に増えました。その中から一次審査を通過した 16 作品が、象の鼻パーク及びパシフィコ横浜エリアに展示されます。期間中、審査員による二次審査を行い、最優秀作品を選出します。

3. 参加プログラム “みんなでつくる横浜夜景”を展開

(1) まちなか展示会

横浜の歴史的建造物などを活用し、企業等が自社の照明技術によるライトアップを行います。最先端の照明技術、環境技術を有する企業が、横浜の都市空間を舞台として自社技術のプレゼンテーションを行います。LED や有機 EL、蓄光塗料など、節電型の照明技術はもちろんのこと、太陽光発電や蓄電技術など、スマートシティを形成する様々な環境技術で、会場が彩られます。

(2) プログラム参加

施設、企業、各種団体、大学等が、独自に「スマートイルミネーション横浜」の参加プログラムを企画、実施します。

(3) ひかりの実

アーティスト高橋匡太が考案した「ひかりの実」を活用し、横浜市の夜景づくりに参加していただきます。果実袋に笑顔を描いた「ひかりの実」を樹木や店舗に取り付けることで、横浜の夜景に笑顔を実らせていきます。

イベント：点灯式 [2014年10月30日(木) 18:00~]

スマートイルミネーション横浜のオープニングを飾るイルミネーションが華やかに点灯します。

ボランティア募集

設営・撤去から当日の運営など、一緒にスマートイルミネーション横浜をつくってくれるボランティアの方を募集しています。詳しくは、ホームページ (<http://www.smart-illumination.jp/>) をご覧ください。

■スマートイルミネーション金沢

「海と街と語り合う、みんなで作るあかりの八景」

省エネルギー技術とアートを融合させ新たな横浜夜景を提案するスマートイルミネーションを金沢八景で初開催。かつて歌川広重が名所絵に描いた平潟湾と瀬戸神社を舞台に、日中のアーティストと、横浜市立大学、関東学院大学の学生たちがコラボレーションし、海と街と対話する光のアート作品を展示します。

- 名称：「東アジア文化都市 2014 横浜 スマートイルミネーション金沢」
- 会期：2014年10月4日（土）16:00～20:00
※雨天時は5日（日）に順延
- 会場：金沢八景駅周辺
- 主催：2014年東アジア文化都市実行委員会、横浜市金沢区
- 協力：スマートイルミネーション横浜実行委員会、横浜市文化観光局、横浜市立大学、関東学院大学、瀬戸神社、千代本楼
- 参加アーティスト：櫻村和美、呉鴻

【アートプログラム】

□《Light Bottles -光の瀬戸・海神の庭》 櫻村和美（瀬戸神社）



(作品イメージ)

小さな太陽光発電と身近な素材から出来たほのかな光のいきもの《Light Bottles》。瀬戸神社の境内に生み出される一夜限りの幻想的な風景をお楽しみください。また、ワークショップでは、ランタンタイプの《Light Bottles》を制作。それを手灯りに電気くらげになった気持ちで夜の金沢八景を探検します。最終ポイント瀬戸神社では、自身の制作した《Light Bottles》を展示。お作り頂いた《Light Bottles》がアート作品の一部となります。

□《水天一色/Galaxy Ripple》 呉鴻（平潟湾プロムナード）



(作品イメージ)

プロムナードの橋下に浮かぶ上がる光の水平線。無数の反射材の破片によってきらめく光が、海風に揺れながら、さざ波のように広がります。

【関連プログラム】

□『聞き耳ワールド』 櫻村和美、呉鴻（金沢八景）

美術家の小山田徹が発案したこれまでにない「お散歩型」音声ガイド。参加者はホスト役、ゲスト役の二人が実際に街を「お散歩」したときの会話の音声を、ウェブサイト（www.kikimimi.org）からダウンロードし、聞きながら同じルートを歩くことで、「お散歩」のもうひとりの参加者となります。スマートイルミネーション金沢に出展のアーティスト二人がみつめる金沢八景を追体験してみてください。

【同時開催イベント】

□『瀬戸秋月祭』 主催：金沢八景共栄会、HAKKEY+（琵琶島神社）

瀬戸橋から見た中秋の名月の美しさを詠んだ金沢八景のひとつ「瀬戸秋月」にちなんだお祭り。周辺の小学生によってつくられた行灯が、琵琶島神社をあたたかな光で包みます。

【一般の方からのお問い合わせ先】

金沢区市政推進課

TEL : 045-788-7726 / FAX : 045-786-4887

■スマートイルミネーション鶴見

「千の光を灯す夜」

鶴見区は、多くの史跡や自然が残る一方で、国際色豊かな地域や最先端の研究拠点であるサイエンスフロントエリア地区が存在する等多様な顔があります。また、伝統的な催事や地域行事が活発に行われ、まちは魅力と活気にあふれています。

平成 24 年度からは、「千客万来つるみ」を合言葉に、このような区の魅力発信と誘客に向けた取組が進められていますが、なかでも大本山總持寺はその有力な資産となっています。

「スマートイルミネーション鶴見」は、およそ 100 年にわたり、鶴見の地で禅文化を発信し続けるこの大本山總持寺を舞台として、「千の光を灯す夜」をテーマに開催されます。

本プログラムは、区を中心とする鶴見駅から大本山總持寺へと「光を運ぶ」プロジェクトを中心に構成し、日中韓のアーティストと区民が大本山總持寺の持つ雰囲気や尊厳を尊重しながら、新たな鶴見の夜を千の光で静やかに彩ります。

- 名 称：「東アジア文化都市 2014 横浜 スマートイルミネーション鶴見」
- 会 期：2014 年 10 月 24 日（金）～25 日（土）17:00～20:30
- 会 場：大本山總持寺
- 主 催：2014 年東アジア文化都市実行委員会、横浜市鶴見区
- 協 力：スマートイルミネーション横浜実行委員会、横浜市文化観光局
- 参加アーティスト：栄暁佳、川瀬浩介、菅野猛、高橋匡太、パク・ジヒョン

【アートプログラム】 メイン会場となる大本山總持寺で、東アジア・日本人アーティストによる作品を展開

□《極光/ACROSS》 栄暁佳（三門）



(作品イメージ)

中国の伝統行事に不可欠な「爆竹」をイメージし、二人の参加者が両端から光を触発し、光がぶつかり合うと、爆竹のような音を奏でる。三門の左右の金剛力士像との光のコラボレーション作品。

□《No pain, No gain.》 パク・ジヒョン（三松閣）



(作品イメージ)

線香の火を使い、あぶり浮かび上げられる手法で描いた絵を三松閣 1 階に展示し、隣部屋のスクリーンでは、制作過程を映像で投影します。

□《光の音色：a tone of light》 川瀬浩介（ロータリー前）



(作品イメージ)

作曲家でもある川瀬浩介がつくった音楽に合わせて光が変化する大小様々なプランターを点在させるインスタレーション。

□《銀竜草》 菅野猛（百間廊下）



(作品イメージ)

ワイヤーに引っ掛けると電気が流れて光が灯ります。「天と地を繋ぐ」そんな思いを込めた彫刻作品。小さな灯の集積が百間廊下を浮かび上げられます。

□《喰わず芋》 菅野猛（仏殿前）



(作品イメージ) Photo: Katsuhiko Ichikawa

アルミの鋳物でできた彫刻作品。モデルは植物なのですが、沢山の『人』の姿にも見える不思議な彫刻です。仏殿の前で来場者を迎えます。

□《ひかりの実》 高橋匡太（向唐門前広場／鶴見駅西口の駅前広場）



(作品イメージ)

高橋匡太により描かれた○のドローイングに参加者が笑顔を描きかたしていきます。人々の想いが込められた《ひかりの実》で、仏殿までの参道を彩ります。駅前広場にもワークショップ会場を設置し、参加者自身で取り付けていきます。

【同時開催イベント】

□『鶴見・旧東海道食べ歩きウォーク』

旧東海道沿道の「食べどころ」と「見どころ」に焦点をあてたウォーキングイベント。「鶴見・旧東海道食べ歩きウォーク」を開催します。参加者には、当日に限り割引などの様々な特典があります。

日 時：10月25日（土） 10：00～15：00 ※スタート受付は13：00まで
スタート：横浜熊野神社
ゴール：麒麟横浜ビアレッジ
参加人数：先着500名様
参加費：無料（各店舗での飲食等については各自で負担）

【一般の方からのお問い合わせ先】

鶴見区区政推進課

TEL：045-510-1677/FAX：045-504-7102

■スマートイルミネーション新治

「新治 あかりの学校」

「スマートイルミネーション新治」では、市内有数の緑地帯と横浜の原風景と言われる景観を残す新治の特色に着目し、人々が身近なところでアートに触れること、「里山」の魅力を発見することをテーマに、「里山」の暗闇とランドスケープを活かしたアート作品によるライトアップを展開してきました。「里山」が、人と自然がつながる場、人と人がつながる場となり、これまで、地域団体や学校、保育園をはじめ、多くの方がこのイベントに協力・参加しています。

3回目となる本年は、これまでのコンセプトを更に発展させ、イベント全体を、里山を体験する「学校」にみたてたプログラムを展開。参加型のアート作品に加え、「里山」の風物を発信するプログラム、さらには東アジア文化都市事業により招聘する東アジアのアーティストによる作品を組み合わせ、人々にとって忘れがたいアートイベントとします。

- 名称：「東アジア文化都市 2014 横浜 スマートイルミネーション新治」
- 会期：2014年11月7日（金）～9日（日）16:00～20:00
※初日はオープニングセレモニーのため17:00～
- 会場：十日市場駅～新治里山公園
- 主催：横浜市緑区、2014年東アジア文化都市実行委員会
- 協力：スマートイルミネーション横浜実行委員会、横浜市文化観光局、
新治西部地区連合自治会、十日市場団地連合自治会、NPO法人新治里山「わ」を広げる会
- 参加アーティスト：イ・ジェミン、木村崇人、高橋匡太、チャン・ウソク、ハン・ジンス、リ・ヒョンジュ、リ・プリンス

【アートプログラム】

□《Wonderland in 新治》イ・ジェミン、チャン・ウソク、ハン・ジンス、リ・ヒョンジュ、リ・プリンス（新治里山公園）

アーティストとアーティスト、アーティストと来場者、日本と韓国のハーモニーをテーマとした韓国（ソウル）のアーティストによる作品。

1. 《インスタレーション》イ・ジェミン、チャン・ウソク、ハン・ジンス、リ・ヒョンジュ、リ・プリンス



(作品イメージ)

来場者が、象に付属されたハンドルを動かすと、羽が動き出し、象の鼻から水が噴射される。噴射された水を浴びた植物プランターは、呼吸をはじめのように光ります。象の胴体には様々なスタンプが施され、うさぎや鳥たちに描き込まれた会話と共に、ブラックライトにより幻想的に輝きます。

2. 《ワークショップ》チャン・ウソク



(作品イメージ)

スタンプを組み合わせ、作品を作り上げるアーティスト「チャン・ウソク」による、来場者がスタンプ（蓄光インク）を押して、大きな作品を協同制作するワークショップです。

□《ひかり場》高橋匡太（新治里山公園）



(作品イメージ)

色とりどりのひかりに満たされた空間「ひかり場」。「ひかり」に対象物を入れることで起こる劇的な変化を体感します。来場者が「ひかり」を使ってさまざまな遊びを創り出します。

□《ひかりの実》高橋匡太（十日市場駅～新治里山公園）



(作品イメージ)

果物袋に思い思いの笑顔を描き、その袋で色とりどりのLED電球を包み込んだ「ひかりの実」が、会場を照らします。

□《雲になった森》木村崇人（新治里山公園）



(作品イメージ)

日光写真で、感光液が染み込んだ布の上に里山の植物のシルエットを浮かび上がらせませす。旧奥津邸の中に小さな新治の森が出現します。

【一般の方からのお問い合わせ先】

緑区区政推進課

TEL : 045-930-2228 / FAX : 045-930-2209

■スマートイルミネーションいずみ

「みんなで彩る、ひかりの水辺」

泉区は、水と緑に恵まれた自然豊かな区です。「スマートイルミネーションいずみ」は、区民の親水拠点である和泉川の「地蔵原の水辺」で、今年度初めて開催します。

「ひかりの実」は、思い思いの笑顔を描いた果実袋に LED 電球を包み込み、色とりどりの「実」として樹木に飾り付けることで、子どもたちやイベント来場者が楽しむことができるプログラムです。

また、東アジア文化都市事業による韓国人アーティストの作品を組み合わせ、「地蔵原の水辺」を彩るとともに、たくさんの人が集い、泉区の魅力を発信する催しとして実施します。

- 名 称：「東アジア文化都市 2014 横浜 スマートイルミネーションいずみ」
- 会 期：2014 年 11 月 16 日（日）16:00～20:00
- 会 場：地蔵原の水辺（いずみ中央駅前）
- 主 催：2014 年東アジア文化都市実行委員会、横浜市泉区
- 協 力：スマートイルミネーション横浜実行委員会、横浜市文化観光局
- 参加アーティスト：イ・ジェミン、高橋匡太

【アートプログラム】

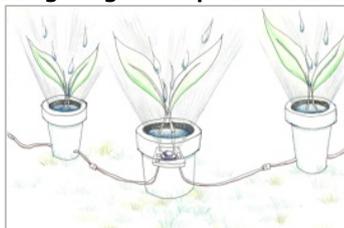
□《ひかりの実》 高橋匡太（地蔵原の水辺）



(作品イメージ)

高橋匡太発案の《ひかりの実》のインスタレーション。街に住む人々が思い思いに描く笑顔で、地蔵原の水辺を彩ります。

□《Lighting flowerpot》 イ・ジェミン（地蔵原の水辺）



(作品イメージ)

水や雨を感知すると、ミステリアスに光る LED 植物プランター。水を与えることで、呼吸をするように光る姿は、対話を想起させます。

【一般の方からのお問い合わせ先】
泉区区政推進課
TEL : 045-800-2331 / FAX : 045-800-2505